KUMAMOTO PREFECTURAL HIGH SCHOOL PTA NEWSPAPER

くまもと

県高PTA連新聞

2016
SEPTEMBER
Vol.40

がまだすばい!!熊本

仮設校舎が竣工し、2学期から新しい教室で元気に学んでいます。

熊本県立第二高等学校

CONTENTS

P2～3…… 平成28年度　会長あいさつ　　定期総会報告
P4…… 第60回 九州地区高等学校PTA連合会大会大分大会報告
P5…… トピックス
P6～7…… 学校紹介　熊本県立南関高等学校・熊本県立苓明高等学校
P8…… 熊本県PTA共済のご案内・生徒総合補償制度のご案内

よろしくお願いします。

平成二十八年度の熊本県公立高等学校ＰＴＡ連合会会長と、同じく熊本県公立高等学校長会会長になられましたお二人のご挨拶です。

子どもたちの夢 実現に向け

熊本県公立高等学校ＰＴＡ連合会会長
九州地区高等学校ＰＴＡ連合会会長
熊本県立八代高等学校・中学校会長
川部　幸博

ＰＴＡ会員の皆さま方には、日頃より県高Ｐ連活動に対し、ご支援ご協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

また、今回の熊本地震により、被災された皆様方へ心よりお見舞い申し上げますと伴に、尊い命を奪われた方々に哀悼の意を送ります。さて、地震発生から４ヶ月経過しましたが、まだまだ終息とは言えない厳しい状況が続き、今も復旧復興に向け日々努力されているＰＴＡ会員も沢山いらっしゃる事と思いますが、そういう困難な状況を察し、全国高等学校ＰＴＡ連合会より、温かなお声掛けと全国各地から寄せられた二千六百万円の義援金の寄贈がありました。その使途につきましては、理事会で承認いただき、国道五十七号線・ＪＲ豊肥線・南阿蘇鉄道の不通箇所による通学困難な生徒への通学支援と、自宅が被災し通常の生活ができない生徒への生活支援として活用させていただきます事をここに報告し、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

子どもたちの大きく膨らんだ夢や希望の蕾を萎ますことなく、今こそ私たち保護者が力を合わせ、それぞれの美しい色鮮やかな花を咲かせるため、共に学ぶという意識のもと、更に活動を加速させる事が重要だと考えます。

いつの時代も、**『すべては子どもたちの未来のため！夢の実現のため！』**これは、私たち保護者共通の想いであり、ＰＴＡ活動の原点です。

子どもたちを取り巻く環境の変化をいち早く察知し、保護者・学校・地域・行政が一体となって、将来を担う子どもたちが、時代の流れに乗り遅れないよう、しっかり見守りながら活動を進めましょう。

また、平成二十九年六月には、熊本県において九州地区高等学校ＰＴＡ連合会大会が開催されます。被害の大きかった中央地区の皆様方を中心に実行委員会を立ち上げ、着々と準備を進めているところです。困難な今だからこそ、「心をひとつに」取り組んでまいりましょう。

県高Ｐ連では、お互いの悩みや諸問題を共に考え話し合い、各単位ＰＴＡ活動の更なる充実を目指します。いろんな疑問や問題等ありましたら、お気軽にご相談願います。

復興くまもとの実現へ向けて 学校・家庭・社会の連携協力を

熊本県公立高等学校長会　会長
熊本県立済々黌高等学校　校長
川上　修治

冒頭にあたり四月十四日、十六日に端を発する震度七の熊本地震により多くの尊い命が失われ、いまなお避難生活を余儀なくされておられます。被害を受けられたすべての方々にこころから哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

県公立高等学校ＰＴＡ連合会の皆様には、平素より各学校での教育活動に御理解と御支援を賜り、心から感謝申し上げます。

今年の夏休みは、いろんな意味で特別でした。そのような中で生徒たちはどのように過ごし、保護者の方々はどう見守り、どう対話なされたでしょうか。自然現象への畏敬の念や命の大切さに関わる話題、復興くまもとへむけての対応についてなど、対話や実践をとおしてきっと充実した日々を過ごすことができたことと思います。

さて、昨今の高校教育を取り巻く現状は様々な解決すべき課題が山積していることは否めません。

まず第一に、情報化社会の光と影、スマホやＳＮＳ等による人間関係のトラブルの問題があります。解決のためには情報モラルやコミュニケーション力の向上、人を憂える気持ちや人権感覚を磨くことに努める必要があります。

つぎに高大接続改革による高等学校基礎学力テストや大学入学希望者学力評価テスト対策。

また、公職選挙法改正による選挙年齢の引き下げに伴う主権者教育。グローバル化に対応した教育等々。

さらには、地方創生といわれている反面で郡部の学校の定員割れの状況が続いています。これも学校独自の対策には限界があります。このような課題は全国的課題であり、更に各学校では長期短期、地域独自の大小様々な課題を抱えています。

しかし今、何よりも教職員が教育的情熱や愛情、また使命感を持って取り組むべきは、目の前にいる生徒たちの心身の成長であり、進路目標の実現であります。生徒たちが安心、安全に健やかに成長してくれることが一番の願いです。

これは保護者の方々の思いとも一致するのではないでしょうか。様々な課題解決のために私たち教職員、ＰＴＡや同窓会等の学校関係者の方々としっかりと三位一体で連携を取りながら教育活動や学校改革に努めていくことが求められています。今後も各学校と歩みを同じくして、御協力を賜れば幸甚に存じます。

末筆ながら県公立高等学校ＰＴＡ連合会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたします。

平成二十八年度 定期総会報告

平成二十八年度の定期総会が、六月一日（水）にメルパルク熊本において、各校のＰＴＡ会長、校長などが出席して開催されました。

会長挨拶の後、本会の活動に功績があった二十名に表彰状が、単位ＰＴＡ会長としてご尽力いただきました二十二名の皆さんに感謝状が贈呈されました。

来賓祝辞では、県教育庁教育総務局長 青木政俊様、公立高等学校長会会長 川上修治様から御祝辞をいただきました。

二十七年度の事業・会務、決算・監査の報告、本連合会規約改正、二十九年度本連合会費の改定、二十八年度役員改選、事業計画、予算案などの提案があり、承認されました。総会前に行われた講演会は、矢野大和様から貴重なお話を伺うことができました。

スローガン
『すべては子どもたちの未来のため！ 夢の実現のため！』

重点事項

○熊本地震で被災した学校施設等の早期復旧及び、安心安全な教育環境整備等の要望
○命を大切にする教育及び、子どもたちの心のケアに関する取り組み
○ＰＴＡ活動・研修会・大会への協働と参画による子育て教育への自己啓発
○情報モラルなど家庭での教育の向上と健全育成の推進
○学校・家庭・地域・行政の連携による進学・就職支援等の進路対策の充実
○迅速な情報発信と共有、安定したＰＴＡ活動のための広報活動
○全国高Ｐ連賠償責任補償制度、県高Ｐ連生徒総合保障制度、一般財団法人熊本県ＰＴＡ教育振興財団への理解と事故防止運動
○平成二十九年度開催の九州地区高等学校ＰＴＡ連合大会熊本大会の成功に向けての取り組み

講演会の様子

■九州大会表彰

【個人表彰】
熊本県立玉名工業高等学校ＰＴＡ
前会長　德村　剛
熊本県立天草高等学校育友会
前会長　鶴田　博道
熊本県立熊本北高等学校育友会
前会長　菊地　理夫

【団体表彰】
熊本県立菊池農業高等学校育友会
熊本県立湧心館高等学校育友会
熊本県立松橋高等学校ＰＴＡ

【感謝状】
熊本県公立高等学校ＰＴＡ連合会
前会長　松村　晋

■全国大会表彰

【個人表彰】
熊本県立熊本工業高等学校保護者会
前会長　堂園　仁
熊本県立玉名工業高等学校ＰＴＡ
前会長　德村　剛

【団体表彰】
熊本県立水俣高等学校ＰＴＡ
熊本県立苓明高等学校育友会

表彰をうける松橋高校PTA岸会長

平成28年度 熊本県公立高等学校PTA連合会役員紹介

役職	氏名	所属高	地区	委員会
顧問	川上　修治	濟々黌	中央	
顧問	山本　朝昭	八代高・中	城南	
顧問	竹下　昇志	菊池	城北	健全育成
顧問	米納　康志	御船	中央	調査広報
顧問	深水　裕二	人吉	城南	総務
顧問	松坂　秀男	苓明・天草拓心	天草	進路対策
顧問	松村　晋	（熊本西）		
会長	川部　幸博	八代高・中	城南	
副会長	村上幸一郎	菊池	城北	健全育成
副会長	佐藤　弘一	御船	中央	調査広報
副会長	高橋　角栄	人吉	城南	総務
副会長	中尾　友二	天草拓心	天草	進路対策
理事	茶木谷吉信	玉名高・中	城北	健全育成
理事	山崎　寿雄	鹿本	城北	進路対策
理事	藤本　哲章	高森	城北	調査広報
理事	松木　幸美	北稜	城北	総務
理事	芹川　春美	翔陽	城北	調査広報
理事	坂口　頼康	熊本西	中央	調査広報
理事	的場　幸雄	湧心館	中央	調査広報
理事	河津　靖紀	必由館	中央	総務
理事	山本　郁美	宇土高・中	中央	進路対策
理事	川内　明子	小川工業	中央	健全育成
理事	岡部　裕紀	八代東	城南	健全育成
理事	中西　浩之	八代工業	城南	総務
理事	久保田　浩	多良木	城南	進路対策
理事	宮内　智	芦北	城南	進路対策
理事	平山　髙広	牛深	天草	総務
理事	吉永　千恵	苓明	天草	進路対策
監事	吉岡　英一	鹿本農業	城北	総務
監事	小園　美香	熊本商業	中央	総務
監事	岩本　光照	八代農業泉分校	城南	調査広報
監事	池崎　精二	苓洋	天草	健全育成

事務局長	小林　博
事務局職員	德永麻由子・中島　孝子

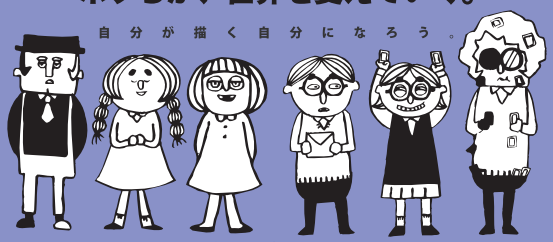
お知らせ

平成 28 年度　地区別指導者研究大会

地区	幹事校	期日	会場
中央地区	矢部高等学校	11 月　5 日（土）	矢部高等学校
城北地区	翔陽高等学校	10 月 23 日（日）	大津町生涯学習センター
城南地区	球磨工業高等学校	11 月 12 日（土）	人吉カルチャーセンター
天草地区	天草工業高等学校	10 月 30 日（日）	天草工業高等学校

大人になる。プロになる。
ITエンジニア科
デジタルクリエイター科
ITビジネス科
医療事務科
総合ビジネス科
熊本電子ビジネス専門学校
熊本市中央区九品寺2丁目 2-38　TEL：096-362-5656
http://www.denbi.ac.jp

ボクらが、世界を変えていく。
自分が描く自分になろう。



学校法人 未来創造学園

好きなことは、うまくいく。
グラフィックデザイン科
メディア映像デザイン科
建築・インテリアデザイン科
ファッションデザイン科
熊本デザイン専門学校
熊本市中央区大江本町 2-5　TEL：096-364-8500
http://www.kumamoto-design.ac.jp

第60回記念九州地区高等学校ＰＴＡ連合会大会
『おんせん県おおいた大会』

第２分科会
進路指導とＰＴＡ活動での発表報告

熊本県立熊本西高校育西会
会長　坂口　頼康

平成 28 年６月 16 日（木）、数年ぶりに訪れた別府の街は、以前と変わらぬ活気に満ちているように思えた。

しかし、タクシーの運転手さんによると、４月の地震以降、別府―湯布院―阿蘇―熊本という観光ルートが断たれ、また風評被害もあり、観光客は激減しているとのことだった。熊本地震による被害は決して熊本だけにはとどまらないことを実感した。

今回の九州大会は、発表校としての参加なのでいつもと様相が違う。16 日の事前打合せ、リハーサルからの参加となり、スタッフの方々の御苦労を改めて目のあたりにしながらも否が応にも緊張感が高まる。夜の懇談会にも参加させて頂き、大分のお酒を堪能しながら本番に備える。

17 日（金）大会当日。発表校４校の中で一番目の発表ということで緊張感は最高潮。固まりそうになりながら会場に到着すると、スタッフの方々の応対がとても温かい。首から発表者用のカードを掛けているだけで、向こうから声をかけてもらえるし、誰に尋ねても対応が丁寧である。おかげで、発表の方も、少々カミながらも無事に終えることが出来た。西高が地域に密着した活動を通して地域の皆さんに親しまれ、私達育西会が子ども達の夢実現のためにどのような応援をしているのかを分かって頂けたと思う。他校の発表も興味深いものばかりだった。高校ＯＢの先輩数名に講演を依頼し、子ども達に自分の聞きたい職業の話を選んで受講させるキャリアプランニングセミナー、保護者で作る受験のための合格勝（カツ）カレー、センター試験や就職の激励会など、今後のＰＴＡ活動に参考にしたいものが数多くあった。

記念講演での柳本昌一氏の話にも感銘を受ける言葉が沢山あったが、大会２日間を通して、感謝・復興という言葉に感動を覚えた大会であった。このすべての人々の想いが来年の熊本大会に繋がることを願う。

高校生の交通事故防止対策研修会のまとめ

健全育成委員会委員長　村上幸一郎

平成 28 年度の『高校生の交通事故防止対策研修会』は、保険の立場から見た自転車事故のあり方や事故への備えについて、『知っていますか？自転車の事故　～安全な乗り方と事故への備え～』をテーマに社団法人　日本損害保険　九州支部副長　田邉　陽一 氏、東京海上日動火災保険株式会社　熊本損害サービス第二課長　岐部　幹夫 氏のお二方を講師にお招きし講話をしていただきました。

ここ数年の交通事故件数に占める自転車事故件数の割合は２割程度と高い水準で推移しています。年間に約 10 万件ほど発生していますが、事故にはパターンがあり、安全不確認や一時不停止など、いかに普段からの注意が必要かがうかがえます。

また自転車は軽車両となり被害者だけでなく加害者にもなります。以前は交通弱者とも言われていましたが、現在では交通強者と言っても過言ではありません。

状況や場合によっては多額の保険金を支払わなければなりません。その為の保険加入も不可欠です。

今回お招きした講師の方々は普段から高校生を対象に講話をしているとのことで、いまいちど事故や保険について認識していく上でも各単Ｐでの研修会をしていただくようお願いしたいと思います。

進路対策講演会 報告

進路対策委員会委員長　中尾　友二

８月６日に県高Ｐ連研修会があり、進路対策講演会で「チャンスをつかめ」と題し、講師に日通ＮＥＣロジスティク株式会社・第一グローバルソリューション事業部・熊本営業所長の徳田輝久氏を招いて行われた。

企業としては、「心身ともに健康を続ける人」を採用したいと考えておられ、健康が一番大事ということである。また、企業に就職してからの即戦力はいないが、自分が戦力になる為には「考える・決める・行動する段取り」が必要であるとも言われた。チャンスをつかむためには、若い時の感性がとても大事で色々なことを経験してほしい。またこれからは、女性の感性（能力）が必要であると思うとも申された。人とのコミュニケーションについては日頃の挨拶が大事であり、話し方・聴き方についても述べられた。最後に、人を認め伸ばしてあげることが企業経営の伸びに繋がると話され、まさしく家庭においても学校においても同様と思う。

確かな技術と資格で求められる人になる！
西日本教育医療専門学校
こども未来学科［夜間］（3年）
視能訓練士学科（3年）
医療事務管理士学科（1年）
熊本市東区健軍3丁目50番21号　TEL（096）331-3301
西日本教育医療専門学校　検索

被災と復興

4月14日、16日にわたって発生した平成28年熊本地震におきまして、まずは心よりお見舞いを申し上げます。死者は関連死も含め100名以上にのぼり、避難者は最大で18万人を数える大災害でした。雇用や農林業、観光はもちろん経済を含んだ、全ての生活に甚大な被害を及ぼした天災。物資の受け渡しや新しい生活基盤の移行で混乱していた最中に、多くの避難所では大人の踏ん張りと共に、子供たちが率先して、協力し合い、情報を持ち合い正常化の手伝いをしていたと耳にします。本来であれば、我々大人こそが、気遣いや心配りを「つながりによる協力」という形で見せたかったのですが、この未曽有の災害はそれを許してくれませんでした。ある意味、我々大人へ日常を考え直す警告だったのかもしれません。そう考えると、復興に欠かせないのは防災教育と共に、根源となる家庭教育や日ごろからのつながりや共有への意識付けや学び直しという備えなのかもしれません。つまり、日常における親子の会話と、親同士の横の関係構築です。繋がりは情報収集の基本ですし、防災や災害発生時の行動決断にも大きな要因になります。子供や家族、自分自身の安全確保にも欠かせません。子供たちはスマートフォンやインターネットを活用し、相互の安全確認を行い、物資の有無を知り、人手のない所に応援に行きました。今回の地震で「子供が大きく成長した！」という事をよく聞きます。では、我々大人は？保護者は？もちろん、必死で家族を守ったと思いますし、様々な状況があったことと思いますが、今一度子供の姿を参考に教育という観点からもう少しできたことはないか？考えて良いのかもしれません。

PTA活動について

ＰＴＡとは？と議論が飛び交う昨今、その存在意義や役割を改めて検証し、認知し、共有する時期が来たのかもしれません。また、今年度の熊本県公立高等学校ＰＴＡ連合会調査広報員会では生徒の頑張りはＰＴＡとして当然にバックアップ、クローズアップしていくものの、その本来の姿である子供たちを支える保護者にスポットを当てて、その取り組みや関わりをお伝えしていきたいと思います。

ＰＴＡとは、アメリカでは1897年、日本では1946年に誕生した子どもの全人格を健全に育成する独立した協議団体です。日本では戦後直後から現在の文科省が組織化や活動を推奨しており、親と教師で構成され平等な立場で教育について学び、キャリア伝導の為に自己を高める団体ともいえます。

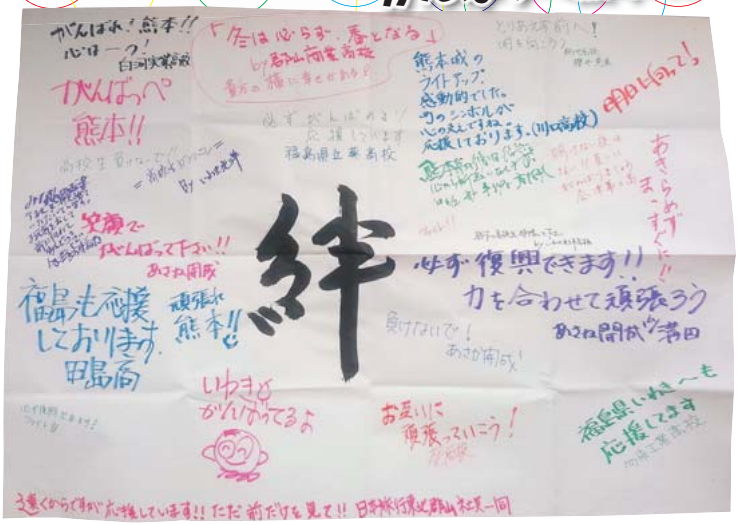
PTAの主な活動は…（ベネッセHPより引用）

① 保護者と教師の平等な協力体制を作る。
② 自分の子供が通う学校の、又は学校教育そのものの理解による共育を目指す。
③ 家庭教育の危機を救うための情報交換や情報提供の場になる。
④ 校外の生活指導と教育環境の改善を目指す。
⑤ 会員相互の学習機会を作る。

という5本柱の基に様々な活動がなされていますが、その必要性について以前と比べると存在感が希薄になっているのが現状です。学校教育の金銭的補助や保険の完備、イベントでの協働を学校と共に取り組んでいるのですが、その実態を広め切れていないのかもしれません。社会変化の激しい不透明な社会の中で、学校、教職員、保護者の三位が一体にならなければ、子供たちの真の未来を作ること、また子供たちが自分たちで築いていく未来を選択させることがより困難になってしまいます。私たちＰＴＡはそれらを念頭に学校に自ら歩み寄り、真剣に楽しみながら活動をする姿を広める使命があるのかもしれませんね。

この書は、27年度県連副会長の徳村剛さんから寄贈されたものです。「啐啄同時」は仏教の言葉で、鳥のひなが卵から生まれ出ようと殻を内側からつつくことを「啐」といいます。その時、すかさず親鳥が外から殻をついばんで破る、これを「啄」といいます。両者のタイミングが一致して（同時）はじめて殻が破れて雛が生まれることができるという意味です。親子関係にもＰＴＡ活動にも学ぶべき大切な言葉だと思います。

福島県連からエール “がんばっぺ熊本!!”



SCHOOL INTRODUCTION

熊本県立南関高等学校

校訓：進取　向学　至誠

会長　多田隈恵美子

校長　重岡　忠希

体育大会

体育大会

本校は、今年度をもって創立以来八十九年の歴史に幕を下ろすことになります。大正十五年淑徳女塾から出発し、南関実科高等女学院、南関高等女学校と改称し昭和二十三年に県立南関高等学校となり現在に至っています。草創期には財政的基盤が脆弱であったため、当時（昭和四～十年）の校主であられた江上新先生が私財を投入して校地を整備され、先生の教育的情熱とその崇高な理想は、今でも本校の精神的支柱となっています。その後は、学校規模、教育内容ともに充実し、今年までに総勢一万千四百人を超す卒業生を社会に送り出してきました。

現在、生徒は普通科四コース（情報・美術工芸・スポーツコミュニケーション・ヒューマンコミュニケーション）に分かれ、南関町はもとより地域企業・大学等と連携しながら体験的かつアクティブな学習活動に取り組み、将来への夢を育んでいます。

除草作業

育友会総会

また、昨年度から新入生の入学がないため、学校行事についてはこれまで以上に地域と一体になって取り組むことが重要です。そこで、育友会の出番です。地域と学校とのパイプ役となり、体育大会でのダンス活動、文化祭での食品バザーなど、生徒以上に大いに盛り上げる名人が多数揃っていることが一番の強みです。

他にも、豊前街道時空遠足における交通指導や炊き出し、朝の正門指導、被災地ボランティア活動など、学校と育友会がしっかりとタッグを組んで生徒たちを見守っています。現在は、十月二十二日（江上新先生の命日：「南関高校の日」）に実施する「南高伝説記念事業」に向け、これまで支えていただいた多くの方々に感謝の気持ちを伝えるための最終準備に取りかかっているところです。フットワークが軽く、機動力がある点が育友会の長所です。どうぞ最後までご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

PTA 指導者研修発表

育友会挨拶運動

時空えんそく

親の学び講座

文化祭

SCHOOL INTRODUCTION

熊本県立芩明高等学校

校訓：報恩　勤労　創造

会長　吉永　千恵

校長　松坂　秀男

餅つき

餅つき

本校は、天草農業高等学校から平成五年に芩明高等学校に校名変更し、天草実業学校から数えて九十六年目を迎えます。「地域に根ざし、夢に挑戦する学校づくり～天草の宝、子どもの健全育成～」というスローガンのもと、地域の人々に愛され、期待される生徒を育成し、地域に貢献する人材を輩出してきました。芩明高等学校の校章は、周囲に校花のコスモスの八枚の花びらを、中心には芩明の光を表す形をデザインしてあり、中の正五角形は、普通科・商業科・園芸科学科・食品科学科・生活情報科の五学科を表しています。生徒が目標を持ち、夢に挑戦することで、自分に対する自信と他者に対する思いやりのこころを育てることを目標としており、平成二十三年には天草市と「オリーブの島づくり」の協定を締結して共同研究に取り組んでいます。

陶芸体験研修

また本校では、「いいとこ発見伝」と題して毎日生徒のいいところを発見し「認め、ほめ、励まし、伸ばす」取り組みを行っています。そしてたくさんの生徒と、それを見つけた職員の「いいとこ表彰」を学期毎にしています。また、ボランティア活動は、毎月多くの生徒が休日に参加し、地域の清掃活動をして頑張っています。

寄せ植え研修

育友会活動としては、七月に陶芸研修、十一月の文化祭前に寄せ植え研修を行い、できあがった作品を文化祭で展示します。夏休み中には芩明・芩洋・天草拓心三校で親善ミニバレー大会を行い、会員の皆さんと先生方の親睦を深めています。学校行事の芩明祭では多くの会員が参加し、チャリティ餅つきを行います。昨年は集まった全額を平成二十七年九月の関東・東北豪雨災害へ寄付しました。十二月のウォークマラソン大会では沿道の交通指導や豚汁の炊き出しを行い、ゴールした生徒に振る舞うなど、会員の皆さんが力を合わせ、様々な取り組みを積極的に行っています。芩明高等学校最後の年、全国高校ＰＴＡ連合会千葉大会で表彰を受けることとなりました。生徒と職員を支援し、来年からは天草拓心高等学校本渡校舎へ育友会活動のよき伝統を引き継いでいきます。

豚汁調理風景

ミニバレー

県高P連新聞　第40号（平成28年9月15日）発行　熊本県公立高等学校PTA連合会　熊本市中央区水道町14-21　熊本県婦人会館3F　TEL096-326-3932　FAX096-326-5527

熊本県ＰＴＡ共済のご案内（熊本県ＰＴＡ教育振興財団）

平成 28 年熊本地震で被災なさった方々に心よりお見舞い申し上げます。

本共済は熊本県下の学校教育活動やＰＴＡ活動の中で発生した**事故による死亡・障害・負傷や、活動への参加に関連して発生した急性の病気**に対して、被災なさった方に共済金を給付する制度です。

熊本県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、高等専門学校の児童生徒等の皆さん、PTA 会員の皆さん（保護者、教職員）、PTA 活動や部活動の指導にあたられる方などが対象となります。児童生徒・部活動指導者（教職員、校長委嘱の外部指導者など）対象のＰ災コース、PTA 会員（保護者、教職員）対象の安互コースがあります。

掛金は・・・：　Ｐ災コースは１名当たりの年額が 500 円（高校生・高専生は 800 円）、安互コースは保護者１家庭で年額 150 円となっています。各ＰＴＡで共済契約、加入手続き、掛金の集金・納付、事故報告、給付請求などをしていただきます。

共済期間は・・・：　学校などの年度に対応する１年間（4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで）になります。期間の途中に追加加入することもできますが、共済期間の終了はすべて３月 31 日です。共済期間中に発生した事故に対して共済金が給付されます。

学校管理下ではない活動についても対応

部活動であっても、小体連・中体連・高体連の主催ではない試合への参加、練習試合、部の合宿や親子交流会など、学校管理下とならない場合は、あらかじめ、PTA 会長の承認を受けた活動（PTA 会長承認行事）となっていれば、共済の対象となります。休業日の学級や学年単位での校外活動も、同様に対応できます。

学校管理下の事故にも対応します。

PTA 活動中だけでなく、児童生徒の皆さんが学校管理下（登下校中含む）で被災した場合、死亡あるいは後遺障害の残るような大きな負傷、歯科保険外治療が必要である場合、往復中の交通事故等も本共済の対象です。また保護者の方々が学校行事に参加中の事故にも対応しています。（入学式、運動会、授業参観など。往復を含みます。）

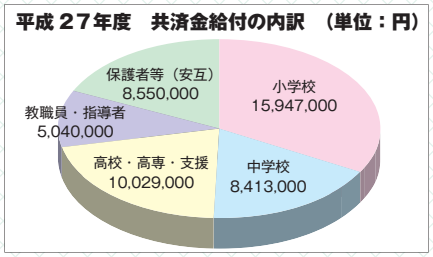
給付の例：　小学生が登校中に転んで歯が折れ保険外治療が必要になった。高校生がバイクで下校中に交通事故にあった。ＰＴＡミニバレー大会練習中に保護者がアキレス腱を切った。運動会の親子綱引き大会に参加した父と母が転倒してけがをした。授業参観の移動中に学校内で保護者が転倒してけがをした。夏休みプール開放に参加した小学生がプールサイドで転んでけがをした。部活動の練習試合中に熱中症になった。などなど・・・

熊本地震の被災者の方は掛金免除になります

自宅の全壊、大規模半壊、半壊の罹災証明のある場合は、児童生徒・PTA 会員の本年度の掛金は、Ｐ災コース・安互コースとも、免除になります。

共済は皆さんの掛金で運営されています。安全な部活動、PTA 活動ができるようにご理解ご協力下さい。

平成２７年度　共済金給付の内訳　（単位：円）



熊本県公立高等学校PTA連合会

生徒総合保障制度のご案内

〈団体総合生活保険（こども傷害補償+自転車総合保険）〉

募集文書番号　16-T17165
2016年8月作成

熊本県公立高等学校PTA連合生徒総合保障制度は自転車事故をはじめ、学校生活のみならず、日常の暮らしのなかでお子様が直面する危険を総合的に補償する制度で、熊本県公立高等学校PTA連合会の推進事業です。いつでも中途加入も可能です。

団体割引 15%	新1年生用加入プラン		スタンダードプラン（A1）		エコノミープラン（B1）		自転車重点補償プラン（C1）	
	事故の種類		自転車事故（国内）	日常事故（国内・国外）	自転車事故（国内）	日常事故（国内・国外）	自転車事故（国内）	日常事故（国内・国外）
傷害補償	死亡保険金額		410万円	140万円	397万円	127万円	376万円	106万円
	後遺障害補償金額		上記保険金額の4%～100%		上記保険金額の4%～100%		上記保険金額の4%～100%	
	入院保険金日額（180日限度）		6,000円	2,000円	5,200円	1,200円	4,000円	補償されません
	通院保険金日額（90日限度）		3,000円	1,000円	2,700円	700円	2,000円	補償されません
育英費用			132万円		81万円		40万円	
特約補償	細菌性食中毒等補償	死亡	140万円		127万円		106万円	
		後遺障害	上記保険金額の4%～100%		上記保険金額の4%～100%		上記保険金額の4%～100%	
		入院	2,000円		1,200円		補償されません	
		通院	1,000円		700円		補償されません	
	熱中症危険補償	死亡	140万円		127万円		106万円	
		後遺障害	上記保険金額の4%～100%		上記保険金額の4%～100%		上記保険金額の4%～100%	
		入院	2000円		1,200円		補償されません	
		通院	1,000円		700円		補償されません	
	特定感染症補償	後遺障害	日常事故死亡保険金額の4%～100%		日常事故死亡保険金額の4%～100%		補償されません	
		入院	2,000円		1,200円		補償されません	
		通院	1,000円		700円		補償されません	

幅広い補償と利便性

ケガの補償　～24時間安心！～

育英費用補償

その他の補償

～熱中症・細菌性食中毒～

※ご加入のプランによっては補償されない場合がございます。

このチラシは2016年度熊本県公立高等学校PTA連合会の「生徒総合補償制度」（こども総合保険、自転車総合保険）の概要について紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明」をよくお読みください。手術保険金のお支払額は、入院保険金日額の10（入院中の手術）または5倍（入院以外の手術）となります。傷の処置等お支払いの対象外の手術があります。保険料・加入方法等または2年生・3年生のプランはお問い合わせ下さい。その他ご不明な点がある場合には、代理店までお問い合わせ下さい

お問い合わせ先（制度の内容・加入手続き・住所変更・転校等のお問い合わせやご連絡先）
熊本県公立高等学校PTA連合会　生徒総合保障制度係　平日9:00-17:00
【幹事代理店】 株式会社東海日動パートナーズ九州熊本支店　TEL　096-372-5005
【幹事引受保険会社】東京海上日動火災保険株式会社熊本支店熊本支社　TEL　096-372-7711

編集後記

未だ、多くの熊本地震で受けた悲しみや戸惑いがある中で取り組んだ四十号の発刊。委員の皆さんの心意気と前を向くその姿勢に突き動かされました。例年以上に特別な想いが詰まった二十八年度ですが、未来ある子供たちに言葉だけではなく背中で感じてもらえる行動も親の仕事、調査広報活動の一つと思い、しっかりと取り組んで参ります。

調査広報委員長　佐藤　弘一

○調査広報委員長
御船高等学校　育友会会長　佐藤　弘一
○調査広報委員
湧心館高等学校　育友会会長　的場　幸雄
熊本西高等学校　育西会会長　坂口　頼康
高森高等学校　後援会会長　藤本　哲章
八代農業高等学校泉分校　後援会会長　岩本　光照
翔陽高等学校　育友会会長　芹川　春美
○顧問
御船高等学校　校長　米納　康志